

国際理解教育や外国語教育の重視

- イマージョンプログラムの導入
 - 英語以外の一部の教科・科目を英語で指導（実技教科などで導入）
 - イングリッシュキャンプで英語漬けの野外活動の実施
- 中国語、ハングルなどの科目の開設
 - 英語以外の外国語を通じた国際理解教育の推進
- ALT（外国語指導助手）の常駐
 - 英語のネイティブスピーカーが毎日の授業をサポート
- コールシステムの活用
 - コンピューターを利用した外国語教育で、中学校段階（前期課程）としては北海道初の導入
- 海外への研修旅行、語学体験研修など（予定）の実施
 - 3回生 福島県プリティッシュヒルズでの語学体験研修
 - 5回生 アメリカ・カナダへの海外研修旅行

総合的な学習の時間の充実

- 6年間を通じた計画的・継続的な学習
- 卒業研究の実施（論文として集録）

キャリア教育の推進

- キャリアカウンセリング（生徒の進路について、教師が一緒に考えアドバイスを行う）、キャリアガイダンス（自己分析や適性検査などを通して、生徒に将来の進路に対する自分の適性を理解してもらう）の実施
- 生徒一人ひとりのキャリア発達の支援
 - 将来の生き方を見据え、進学する学校を決定するなどの進路選択



あけ び
明日の特色ある教育活動

多様な体験活動などの推進

- 異年齢生徒の交流の促進
 - 縦割りの行事、ボランティア活動、自然社会体験活動などを行います。具体的には、合同宿泊研修（1回生と4回生）、自然体験学習、地域の行事への参加などを検討しています。

地域や北海道のよさを学ぶ学習活動の推進

- 『国際観光学』など、地域性を生かした選択科目の開設
- 地域の人材や施設、設備などを活用した教育活動の推進

弾力的な教育課程と授業形態の工夫

6年間の一貫性・系統性を踏まえ、英語と数学の授業で少人数指導や習熟度別学習を行い、この中で、じっくり学びたい生徒と、発展的な学習に進みたい生徒に対応していきます。

◎基礎期（1・2回生）

6年間の学校生活の基礎・基本の確実な定着を図る段階として、学習習慣の確立や学習方法の習得、望ましい人間関係などをしっかりと身に付けてほしい時期です。

授業では、特に国語と英語の基礎・基本の徹底を図るため、授業時間を標準より過当たり各1時間増やします。

国語では、日本語を正しく使い、人前で胸を張って話ができるよう、話すこと、聞くこと、書くこと、力を伸ばす授業を行います。

英語では、充実期から導入する予定のイマージョンプログラム（英語以外の教科・科目を英語で指導する）などの基礎を身に付けるために、ALT（外国語指導助手）を活用した英会話の授業を取り入れます。

また、英語と数学では、1回生は少人数指導、2回生は少人数習熟度別学習を行います。

◎充実期（3・4回生）

高校入試のない学校生活を充実

したものとするよう、自分の興味・関心などに応じて、より高い学習方法や学習内容を身に付けるなど、主体的な学習態度を身に付けるとともに、中学学年としての役割を自覚しながら、充実した学校生活を送ってほしい時期です。

授業では、本来、中学校と高等学校との間で差がつかちな数学をじっくり学ばせたいという観点から、国語と英語に加え、数学でも授業時間を標準より過当たり1時間増やします。

4回生では、小論文と英会話の授業時間を増やし、どちらかを選択できるようにします。

英語、数学では、少人数習熟度別学習を行います。

◎発展期（5・6回生）

6年間の総まとめとして、希望進路の実現に向け、これまで培ってきた力をより確かなものにするなど、個性や能力の一層の伸長を図るとともに、学校全体のリーダーとして、また、先輩として良き伝統をつくり、後輩にしっかりと伝えてほしい時期です。

そして、卒業後には、夢の実現に向けて大きく羽ばたいてほしいと考えています。

授業では、多くの選択科目を開設するとともに、少人数指導を通して希望進路の実現に向けたきめ細やかな指導を行います。